

み っ く ら

お知らせ版

令和3年3月1日発行 第333号

発行：大瀬川活性化会議

事務局：花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2（大瀬川振興センター内）

電話/FAX 45-6472



くずまる大学講座が閉講

2月16日、令和2年度のくずまる大学は閉講にあたり、大瀬川振興センターに福々亭ナミ子さん（八重畑出身）を講師に招いて健康漫談会を開催しました。ナミ子さんの親しみやすい語りや、歌に合わせた頭の体操をまじえながら、誰かと話をする事、明るく楽しく毎日を過ごすことが、何よりの健康の秘訣と学びました。



震災から10年 今、あの時の教訓を確かめる — 歴史探訪講座 —

東日本大震災からまもなく10年を迎えることから、第68回歴史探訪講座は2月21日、消防団員でもある畠山智明さん（7区）を講師に、震災当時の様子や消防団員としての活動について聴講しました。また、講座の参加者ひとりひとりに体験談を聞き、あの時、どこで何をしていたか、どのように過ごしていたかをそれぞれが振り返りました。新型コロナをはじめ、さまざまな災害は忘れる間もなくどこかで起きています。改めて、日頃の備えについて思いつくところからひとつひとつ対策をすること、周囲と（地域と）普段から話し合っておくことの大切さを学びました。

13年間の歴史探訪に幕



菅原得之さんが代表を務める大瀬川歴史クラブは、今回の68回をもって歴史探訪講座最終回となりました。

得之さんはその溢れる探究心で大瀬川にまつわる様々な事柄を、自らの足で発掘し続けてきました。時には企画展を織り込みながら2ヶ月に1度のペースで講座を開催し、内容もあらゆる方面に及びました。講師として参加した地元の方々も多数。

✿ 畠山智明さんから花を贈られる菅原得之さん ✿

講座は終了しますが、得之さんはこれからも走り続けます。

企画展開催中 東日本大震災10周年

「あれから何を学び、何をどう伝えるか」

期間：令和3年2月25日（木）～3月31日（水）

会場：大瀬川振興センター 9:00～17:00

## ～消防署からのお願い～

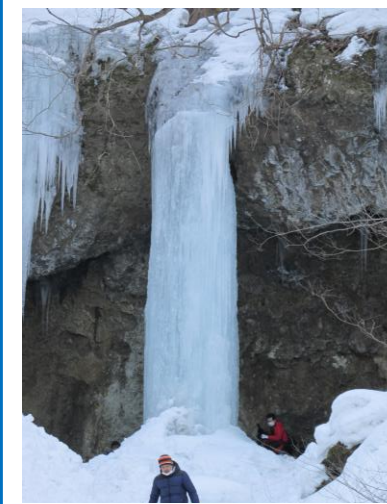
3月1日から7日までの一週間、全国一斉に「春季全国火災予防運動」が実施されます。春先は空気が乾燥し、風の強い日が多いことから火災が発生しやすい気象となります。火災を発生させないために、以下の点に注意して生活しましょう。

- ・強風の日や空気が乾燥している日は屋外での火気使用を控えましょう。
- ・野焼きや焚き火など、屋外で火を使用する際は複数人で行い、水バケツなどを用意して確実に消火するまでは絶対にその場から離れないようにしましょう。
- ・火気使用の際は、燃えやすいものを近くに置かないようにしましょう。
- ・野焼き、焚き火の前は「みかたは確認」を意識しましょう。
  - み → (消火用の)水を準備する。
  - か → 風の強い日は行わない。
  - た → (一度に)たくさん燃やさない。
  - は → (その場を)はなれない
  - 確認 → (最後は)消火の確認。

火気使用の前に「みかたは確認」。一人ひとりが火災予防に対する意識を持つと共に、近隣住民が協力し合い、地域全体で火災の予防に努めましょう。



問い合わせ先：花巻北消防署（45-2119）



### ☆たろしへと続く道☆

全国的にも有名になった大瀬川のたろし滝。今年のみごとな6メートル越えとなり、多くのメディアに取り上げられました。今期の寒さから、たろしの成長に期待を膨らませた多くの人達が測定日前から訪れていたようで、道づくりに参加した保存会関係者の話では、ある程度雪が踏み固められており、いつもより道づくりは楽だったとのことでした。とは言え、この道づくりに毎年多くのボランティアが協力し、大瀬川の観光資源のために一役買っています。



好天に恵まれて山祇神社で厄払いの儀  
大瀬川年祝い実行委員会（板垣伸吾会長）は2月14日、9名の対象者が参加して、山祇神社で直町宮司による厄払いの儀を執り行いました。